

## ■研究課題名

ヒト骨格における加齢性変化の観察

## ■研究等責任者

医歯薬学総合研究科 肉眼解剖学 教授 弦本敏行

## ■研究の実施場所

医歯薬学総合研究科肉眼解剖学研究室

## ■研究の目的

年齢の進行に伴い、ヒト骨格の形態学的特性は徐々に変化すると考えられますが、その詳細はいまだ不明な点が多いといえます。ヒトの四肢骨や脊椎、骨盤等の扁平骨における骨・関節部の加齢性変化の様相を解明するため、種々の形態学的特性がどのように変化するかを明らかにすることを目的とします。

## ■研究の内容

骨格標本における種々の形態学的指標を肉眼的あるいはデジタル写真画像・医療用 CT 画像上で定量化し、統計学的解析を実施します。単施設の研究で介入のない後方視の研究であり、対象への侵襲はありません。

## ■試料等提供者

当教室保管中の人骨の中から、任意に約 300 体を抽出します。これらは昭和 30 年から 40 年代にかけて長崎大学医学部学生実習において解剖されたご遺体から作成された骨格標本であり、それらの多くは現在では身元が不明な人骨です。氏名はすべて匿名化し、年齢と性別以外の個人情報すべて連結可能匿名化とします。

## ■研究期間

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科倫理委員会承認日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日まで

## ■倫理的問題等

本研究はヘルシンキ宣言及び臨床研究に関する倫理指針に従い実施されますが、本研究で得られた各データに関しては、対象者の氏名はすべて匿名化した上で、年齢と性別以外の個人情報すべて連結不可能としますため、対象者に対して倫理上の問題が生じる可能性はきわめて少ないと思われれます。

## ■試料等提供者またはその家族等の人権の擁護

本研究はヘルシンキ宣言及び臨床研究に関する倫理指針に従い実施されます。人骨の取り扱いに際しては、最大限丁寧な取り扱いに留意いたします。

■ 予測される研究対象者等に対する危険又は不利益

本研究への参加によって危険又は不利益が生じる可能性はありません。

■ 試料等提供者に対する健康被害の補償

なし

■ 個人識別情報を含む情報の保護の方法

観察対象人骨の氏名はすべて匿名化し、年齢と性別以外の個人情報はずべて連結可能匿名化とします。対応表及び電子媒体に保存するデータはキャビネットに保管した上で施錠を行い、情報漏洩については十分配慮します。

■ 研究等の期間及び当該期間終了後の試料等の保存又は廃棄の方法

研究期間中の対応表及び電子媒体に保存するデータについては施錠できるキャビネットに保管します。また、研究期間終了後、対応表およびこれらのデータを確実に裁断処分する。

本研究へ異議がある方は、下記までご連絡をお願いいたします。

研究に関する連絡先

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 肉眼解剖学分野

教授 弦本敏行（つるもととしゆき）

TEL (095)819-7021

FAX (095)819-7024

E-mail: [tsurumot@nagasaki-u.ac.jp](mailto:tsurumot@nagasaki-u.ac.jp)